

● 危険な心理状態になったときにどうするか

次の事例を読んで、下の①②について、話し合ってみましょう。

覚醒剤かくせいざいに手を出してしまったとき

高校2年生のA子は、成績も優秀ゆうしゅうで、進学校に入学し、中学校からやっていたテニス部に入り順調な学校生活を送っていたが、先輩とのいざこざから、退部してしまった。

一種の挫折感させつから、勉強もはかどらなくなり、ストレス解消と言いながら、夜遊びを繰り返し、いつしか中学時代の友人とクラブに出入りするようになり、夜通し踊り明かしたり、時には酒を飲んだりするようになった。

ある日、クラブで知り合った仲間から、覚醒剤かくせいざいを持ち出され「これをやれば、すごい気持ちいいし、痩せられるよ」と言われ、周りのノリと覚醒剤かくせいざいを勧めてきた仲間が異常に見えなかったことから、覚醒剤かくせいざいを注射してもらい、たちまち虜とりこになってしまった。そして、学校にも通わなくなり、やがて仲間と共に逮捕され、学校を退学することを余儀なくされた。

(厚生労働省の資料より、原文表記のまま)

① A子はなぜ覚醒剤かくせいざいに手を出してしまったのでしょうか。

.....

.....

.....

.....

② 自分を大切に思えない、投げやりな気持ちになっている、過度のストレスがあるなどの危険な心理状態のときに、覚醒剤かくせいざいなどの薬物に手を出さない、または近づかないために、どうすればよいでしょうか。

.....

.....

.....

● たばこ・酒の宣伝・広告をどう見るか

たばこや酒の宣伝・広告について、次のことを考えてみましょう。

① 宣伝・広告から、どんな印象を受けますか。

② 宣伝・広告には、人の目を引くために、あるいは商品売るために、どんな工夫をしているでしょうか。

③ 宣伝・広告では、健康への影響^{えいこう}について、どのように触^ふれているでしょうか。
